

## 2023年度 積雪期登山個人装備リスト

服装	装備	備考	T1	T2	A1	A2
服装	アウターシェル(上)	T-1、T-2: 雨具(防水透湿性素材) A-1、A-2: 冬期用アウターシェル(防水透湿性素材) 中綿・保温材のないものが望ましい	○	○	○	○
	アウターシェル(下)	T-1、T-2: 雨具(防水透湿性素材) A-1、A-2: 冬期用アウターシェル(防水透湿性素材)	○	○	○	○
	行動着(上)	フリース薄手、アウターシェルが薄い方は厚手を検討する	○	○	○	○
	行動着(下)	冬期用(起毛、2重など)	○	○	○	○
	下着(上下)	メリノウール推奨、寒がりの方は厚手	○	○	○	○
	ウール靴下(2set)	ウール 冬期用	○	○	○	○
	ウール手袋(2set)	ウール 冬期用	○	○	○	○
	ニット帽または高所帽	冬期用	○	○	○	○
	目出帽	冬期用 厚手 メリノウール2重タイプ推奨 薄手の方は2枚重ね	△	△	○	○
	防寒着	ダウンジャケット長袖、フリース中厚など	○	○	○	○
タイツ	メリノウール・化繊、ヤッケやズボンが薄い方は最初から履く	△	△	○	○	
雪山 装備	ザック	30～60L程度、内側に防水の袋	30～40L	50～60L	45～60L	45～60L
	冬期用登山靴	冬期用レザーブーツ、プラスチックブーツ	△	○	○	○
	ピッケル	一般縦走用		○	○	○
	アイゼン	T-1: 6本爪以上 T-2: 10～12本爪アイゼン A-1、A-2: 前爪のある12本爪アイゼン	○	○	○	○
	ワカン	木製またはアルミ合金			○	○
	ロングスパッツ	冬期用登山靴につけられるもの	○	○	○	○
	オーバーミトン	5本指タイプ、丈の長いもの	○	○	○	○
	スコップ	金属製			○	○
	ビーコン、プローブ	必要になったとき			○	○
生活 用品	シュラフ	ダウン(冬用)		△	○	○
	シュラフカバー	ゴアテックス		○	○	○
	マット	エアーマット、厚手マット		△	○	○
	銀マット			△	○	○
	食器・箸		○	○	○	○
	ガスヘッド		△	△	○	○
	ガスカートリッジ		△	△	○	○
	ポリタンク	1.0ℓ×2個、プラティパスのときは保温に注意(ロートが必要)	○	○	○	○
	テルモス(約500ml)	保温水筒	○	○	○	○
	ナイフ		○	○	○	○
	ライター		○	○	○	○
	個装袋	35～40L程度	○	○	○	○
その他	ヘッドランプ	予備電池 1set(非常用セットとは別)	○	○	○	○
	コンパス	プレート付き、使用可能温度-40℃～のもの	○	○	○	○
	地図・ルート図	2万5千分の1地図、登山地図	○	○	○	○
	サングラス		○	○	○	○
	日焼け止め	リップクリーム含む	○	○	○	○
	ツェルト	ビバーク用	○	○	○	○
	非常用セット	メタ(メタ台)、マッチ、ライター、レスキューシート、予備電池、非常食	○	○	○	○
	緊急連絡カード	山スクールで渡す	○	○	○	○
	テーピングテープ		○	○	○	○
	常備薬、簡易救急セット		○	○	○	○
	健康保険証	コピー不可	○	○	○	○
	山行計画書		○	○	○	○
	筆記用具		○	○	○	○
	時計		○	○	○	○
	携帯電話	予備バッテリーを含む	○	○	○	○
	カメラ	希望者	○	○	○	○

入校時に説明いたしますので、事前に購入する必要はありません。

※雪山装備はパーソナル委員会の例会でも使用するので、持っておいたほうが良い。